

まらごの紹介

今回は、赤谷地区滝谷新田にお住まいの森正芳さんのお宅をおじゃましました。
(担当 六井委員)



山間地で頑張る兼業農家

森さんは、赤谷地区の滝谷新田という山間地にある集落にお住まいです。戸数66戸、その内農家は65戸ですが、稲の作付を行っている農家は20戸で作付面積は15haです。
森家は正芳さん(47歳)、妻の香代子さん、母の尚さん、祖母のハル工さん、そして長男の裕樹くんを筆頭に洗樹くん、瑞樹くんの男3兄弟の7人家族です。子供3人は、いずれも野球少年です。

経営内容は、水田80a、畑8aの兼業農家で稲作は全部コシヒカリ(特別栽培米)を作付しています。正芳さんが昼夜2交代制の会社にお勤めですので、尚さんにもお手伝いをいただいています。畑は、尚さんが自家用野菜を作っています。香代子さんは、裕樹くんが、高校の野球部ということで、早朝の送り、夜遅くの迎えの為、時々しか手伝いができませんとのことでした。

集落は山に囲まれている為に獣の被害が非常に多く、特に猿害(時々猟友会の人に来てくれる)で、森さんも花火で追い払っていますがあまり効果はありません。最近では特に繁殖力の強いハクビシンには、手をやいています。それらの獣にも負けずに、山間地の農地を守るのは容易なことでは有りませんが、このすばらしい農地を、家族の協力を得ながら、体の続く限り耕作して行きたいという強い言葉をいただきました。

編・集・後・記

五十公野公園では市の花「あやめ」が咲き揃い、田んぼでは五月の初めに植えた早苗も元気を増し、今では緑のジュータンと広がっています。

青空の下、二羽のひばりがピーチク、パーチク私の歌がうまいのよと争っているようにも聞こえるなどのどかな光景です。

TPP交渉もまだ解決していないのに、今度は農業改革と我々にとって不安な要素がいっぱいです。そんな中、農業委員の改選が行われました。当選された皆様おめでとうございます。

農家の代表として選ばれた委員の皆様、少しでも不安を払拭していただける様、頑張っていたきたいと思います。

(記 五十嵐 前部会長)

農地移動申請の切は毎月10日です。

INFORMATION

事務局人事異動

～よろしくお願いたします～

次長兼農地調整係長

海老井 修 (学校教育課から) (平成26年4月1日付)

主 任

安澤 晶子 (豊浦支所から) (平成26年4月1日付)

～お世話になりました～

副 参 事

南部 広光 (収納課へ) (平成26年4月1日付)

主 任

廣井 悟 (加治川支所へ) (平成26年4月1日付)

全国農業新聞を読もう!!

週刊 金曜日発行

月600円、年7,200円 (消費税込)

◎全国農業新聞購読料(3ヶ月分)の口座振替日をお知らせします。

7、8、9月分 ----- 平成26年11月10日

10、11、12月分 ----- 平成27年 2月10日

* 現金納付の方は、口座振替日が納期限日となります。

農業委員会 広報 さわやか 8月号 No.33 さわやかは私たちが 編集しました。 編集委員長 五十嵐 隆夫(H26.7.19選出) 編集委員 藤岡 和文・古田 光浩 増子 國夫・石井 辰彦・坂野井 政之(H26.7.19選出) 発行 新発田市農業委員会 0254-33-3119 〒990-2492 新発田市住田510番地 株式会社 福島印刷 印刷